

## “今週の国際宇宙ステーション(ISS)”

- ★最初のISS構成要素打上げから1789日経過しました
- ★第7次長期滞在クルーのISS滞在は169日経過しました

## ★ISS動向

第7次長期滞在クルーの滞在が1ヶ月を切り、クルーは第8次長期滞在クルーの到着に備えた準備をして過ごしました。マレンチェンコとルー両宇宙飛行士は、地球に帰還する時に座るソユーズ宇宙船のシート・ライナーの適合性確認を行いました。

ふたりは、日本時間10月28日(火)午前8時20分にISSから分離し、同10月28日午前11時36分にカザフスタンに着陸する予定です。

## ★第8次長期滞在クルー打上げ準備進む

カザフスタンのバイコヌール宇宙基地では、第8次長期滞在クルーであるアレクサンダー・カレリ、マイケル・フォール両宇宙飛行士と欧州宇宙機関(ESA)の宇宙飛行士であるペドロ・デューク宇宙飛行士が、ソユーズ宇宙船のシート・ライナーの適合性確認を行いました。彼らは、日本時間10月18日(土)午後2時37分に打ち上げられ、同10月20日(月)午後4時20分にISSにドッキングする予定です。マイケル・フォールと、アレクサンダー・カレリ両宇宙飛行士はおよそ6ヶ月間ISSに滞在し、ペドロ・デューク宇宙飛行士は第7次長期滞在クルーと共に帰還する予定です。



ソユーズ宇宙船の中で作業するマレンチェンコ宇宙飛行士



ズヴェズダの窓から撮影するルー宇宙飛行士



シート・ライナーの適合性確認



打上げ準備中のソユーズ宇宙船

## “今週の「きぼう」”

米国ケネディ宇宙センター(KSC)に運ばれた「きぼう」の船内実験室は適合性確認試験(MEIT-III)を終了し、打上げを待つ間KSCに保管されます。現在は保管前の動作確認・点検を行っています。KSCから届いた最近の写真をいくつかご紹介します。



動作確認・点検に参加する若田宇宙飛行士

## “トピック”

## ★第18回世界宇宙飛行士会議開催

10月13日(月)に、第18回世界宇宙飛行士会議が開幕しました。開会式、基調講演の後、14ヶ国から集まった64人の宇宙飛行士たちは、日本科学未来館で記念撮影を行い、午後からはテクニカルセッション1「宇宙と教育ー全人類の文化に向けてー」に参加しました。引き続き行われたパネルディスカッションでは宇宙開発と教育への可能性について活発な意見交換が行われました。



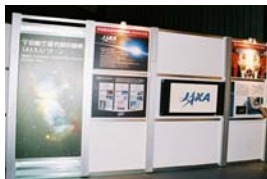
記念撮影



パネルディスカッション

## ★人類が創る宇宙史展

世界宇宙飛行士会議の併設展示として、10月1日(水)から11月30日(日)まで、日本科学未来館1階催事ゾーンにて「人類が創る宇宙史展」が開催されています。



JAXAブース



協賛企業ブース



月着陸船の実物大模型



スペースシャトルに使われている素材の解説



宇宙食展示



フロア全景



問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター TEL: 029-868-3074

ISS・きぼうホームページ <http://iss.sfo.jaxa.jp/> Eメール kibo-koho@jaxa.jp

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。